

2022年度アートによる地域振興助成 公募説明会 より抜粋！

申請書作成のポイント

申請書の構成

2022年度アートによる地域振興助成の応募をご検討いただいている皆様へ、申請書の作成におけるポイントをご紹介させていただきます。こちらの資料は9月28日（火）に開催した公募説明会の資料がもとになっています。

申請書は大きく分けて3つのテーマで構成されています。

- ① **活動団体や地域について（1～2ページ）**
- ② **2022年度の活動について（3～4ページ）**
- ③ **2023年度以降の展望について（4ページ）**

申請書の全体像と重要な設問については、実際の申請書をもとにポイントを次のページよりご紹介いたします。

記入する上でのポイント

ここからは申請書を記入する上での基本的な考え方のポイントをご案内します。

- ① **活動を客観視して記入する**
- ② **設問の意図を正しく読み取る**
- ③ **1年間でのゴールを明確にし、具体的な実行項目を計画する**
- ④ **収支内訳書は具体的に記入する**
- ⑤ **不明点はお問合せを！**

①活動を客観視して記入する

申請書内の設問は、選考の観点に対する答えを記入いただくよう構成されています。選考の観点を活用してご自身の活動を振り返ると、客観的に捉えることができると同時に、選考の観点における活動の魅力が整理され、選考委員に伝わりやすくなります。

観点	具体的内容
地域への洞察	活動を展開する地域の独自性や課題をどのように探究しているか。現在の行政区分にとらわれない歴史、風土、民俗に根ざした、地域文化の掘り起こしや発見が期待できるか。
新規性	アートプロジェクトならではの新しい表現への挑戦があるか。新しい発想にもとづく社会課題解決への試みがあるか。
継続性	単発のイベントではなく、地域に継続的に関わる中期的なビジョンや事業計画があるか。
<継続で助成申請する場合>上記の観点に加え、次のような点を重視します。	
発展性	今までの活動が積み重なり、次への展開が見えてきているか。そのための事業計画や組織が構築されているか。
関係性	地域の様々なステークホルダーと関係性を築いているか。
影響力	地域にどのような影響・効果・変化をもたらすかを計画し、それを期待することができるか。

②設問の意図を正しく読み取る

1次選考は書類選考です。

申請書は皆さまの活動を知る上での大切な資料となります。

設問をよく読み、理解していただいた上で、ご記入をお願いいたします。

■具体例

3. 主な活動対象となる場所はどこですか？ その場所の特色や課題はどのようなものですか？

活動エリア	
活動エリアの特色	<p>ポイント</p> <p>この設問では、活動エリアについて記載いただく欄になります。 ※過去の申請では「プロジェクトや団体」の特色や課題が記入されていることがありました。</p>
活動エリアの課題	<p>福武財団の助成プログラムは「アート」と「地域振興」いずれの視点も重要視しています。そのため、こちらの項目では、活動されている<u>エリア</u>の「特色」や「課題」を捉えられているかを拝見いたします。</p>
貴団体の地域に対するミッション (活動の目的)	

③1年間でのゴールを明確にし、具体的な実行項目を計画する

地域振興において、団体の活動は複数年に及ぶ計画のもと実行されているかと思います。事業全体の目的と、その一部分としての「2022年度」に目指すゴールをそれぞれ整理してご記入ください。1年の目的に沿って具体的な方法を計画し記入ください。

1. 団体の活動の概要

ポイント

団体の活動概要：団体（プロジェクト）全体の概要をご記入ください。1年に限らず、これまでの活動やこれからの活動など、団体についてご説明いただきたい項目です。

5. 2022年度の活動の具体的な方法（前記のミッションを実現するための表現方法や参加アーティストなど）

ポイント

2022年度の活動概要：2022年度に実行する内容についての概要をご記入ください。上記の「団体の概要」とは異なり、全体の活動のうち「2022年度の1年」を切り取った時の実行内容の概要と具体的な手法についてご説明いただきたい項目です。

④収支計画は可能な限り具体的に記入する

<福武財団助成金の支出内訳>

収支計画の項目は、実際に事業を実行する上で、助成金をどのように配分される予定なのか、申請金額は妥当であるか、事業計画と用途が合致しているか等を確認させていただきます。

※助成対象外の経費となる費目がありますので募集要項をよく確認してください。

■記入例

	項目	内容	金額	備考
✖	広報宣伝費	広報物一式	300千円	
○	広報宣伝費	パンフレット 500部	300千円	印刷費100千円、 制作費200千円

ポイント

- 「○○一式」ではなく可能な限り用途、内訳を記入してください。（上記参照）
- 金額は詳細の見積もりを取り添付する必要はありませんが、全く検討のつかないものに関しては、見積もりや相場を調べてから予算組みをしてください。また、申請金額と実際の支払い金額を1円単位まで細かく揃える必要はありません。

④収支計画は可能な限り具体的に記入する

<事業全体の収支内訳>

他の助成金や補助金と併用可能です。

様々な収入源があることは事業を継続していく上で強みになると考えております。

※当財団の助成プログラムは併用可能ですが、他の助成金・補助金によっては併用不可のプログラムもありますので条件等はよくご確認の上、お申込みください。

<収入>

■記入例

項目	内容	金額	備考
助成金	福武財団	500千円	
助成金	〇〇財団	800千円	申請中／申請予定
寄付	地元企業3社	500千円	

ポイント

- 他の助成プログラムによっては、応募時に採否が分からない場合があります。結果が分からない場合は備考欄にその旨をご記載ください。（上記参照）

⑤不明点はお問合せを！

記入内容の添削や、一緒に申請書を作成すること等はできかねますが、設問の意図や、応募フォームの操作、助成趣旨に合致している活動内容か等、ご不明点にお答えすることができます。

■問い合わせ先

公益財団法人 福武財団 助成担当

電話：087-892-4455

※「助成担当者をお願いします。」とお申し出ください。

問い合わせフォーム：

<https://fukutake-foundation.jp/form/josei>